

「3DS」変わったのは、 3D画面だけじゃない！

杜の都SDC 青山 正樹

先日のコンベンションでは、“DSi”や“DSiLL”利用の方が結構いらっしゃいました。テンポやピッチが調整可能。軽くて、小さく持ち運びが便利。SDカードで1000曲でも2000曲でも入り、例会でもパーティーでも何の不足もないとのこと。

ただ、耳より情報や機関誌へ掲載後は、再生可能な形式の「mp4/m4a/3gp（AACファイル）に変える方法が分からない…」との問い合わせを結構お受けいたしました。確かにちょっと、馴染みが薄いフォーマットでした。 [※比較表]

そこで任天堂が現在一生懸命宣伝している「3DS」です。3Dソフトの開発促進のために、8月に25,000円の定価を15,000円に大きく値下げされ、お求め安くなりました。

でも、3Dなんて私たちに関係ありません。あの音楽再生機能がどうなったかが大問題です。

それが、な〜んと、「mp3」が再生できるようになりました。これならお馴染みのフォーマット。また、利用者が増えるかもしれませんね。

	3DS	DSiLL	DSi
液晶 上	3.53 型	4.2 型	3.25 型
液晶 下	3.02 型	同上	同上
重 さ	235g	314g	214g
サイズ 横	134mm	161mm	137mm
縦	74mm	91.4mm	74.9mm
厚さ	21mm	21.2mm	18.9mm
充電時間	3.30h	3.00h	2.50h
持続時間	5-8h	6-8h	4-6h
対応フォーマット	AAC+mp3	AAC	AAC

右図の左が3DS、右がDSi。大きさはあまり変わりません。

3DSの方がちょっとゴツゴツした感じがします。



左図の左が3DS、右がDSiLL。テンポやピッチコントロールは、ちゃんとあります。（下画面）

もちろんパーティーへの移動中にゲームもできますし、音楽を聴くこともできますよ。^^;)

注：比較表の持続時間は想定値です。

出典：任天堂HP